

# 第3期安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略

## 作成方針について

2025年8月25日

## 基本構想【10年】

メインターゲット：市民

【位置づけ】 安来市の将来の目標及び目的達成のために必要な施策大綱を示し、まちづくりの基本指針を明らかにするもの。

- 【作成方針】
- 市民にとってわかりやすく、手に取り、読みたくなる内容・表現
  - 市民が自分ごととしてまちの将来を考えたり、行動するきっかけとなるもの
  - 安来市のこれからを担う子ども・若者にきっかけを与えるもの

## 基本計画【5年】

メインターゲット：行政（職員）

【位置づけ】 基本構想で定めた安来市の将来像を達成するために必要な施策・事業の基本的な考え方を示すもの。

- 【作成方針】
- 施策の目的を市民目線でわかりやすく整理する
  - 各分野の目指す状態（ゴール）を示し、実現に向けて必要な取組を描く
  - 協働のまちづくりや健全な行財政運営の視点を踏まえる

## 総合戦略【5年】

メインターゲット：行政（職員）

【位置づけ】 将来の人口動向を見据え、人口減少に立ち向かうための行動指針と必要な施策・事業を示すもの。

- 【作成方針】
- 国における地方創生の方針を踏まえ、安来市の方針を整理する
  - 人口減少対策、定住促進対策として戦略的に実施すべき取組を描く

## 【地方創生をめぐる現状認識】

### 1.人口・東京一極集中の状況

### 3.地方創生をめぐる社会情勢の変化

#### ○厳しさ

- ・地方の人手不足の一層の進行
- ・若者や女性の地方離れなど

#### ○追い風

- ・インバウンドの増加
- ・リモートワークの普及
- ・AI・デジタルなどの急速な進化・発展など

### 2.地域経済の状況

### 4.これまでの地方創生10年の成果と反省

#### ○成果

- ・人口減少問題への対処開始、地方移住への関心の高まりなど

#### ○反省

- ・人口減少を受け止めた上で対応、若者や女性の流出要因へのリーチ、国と地方の役割の検討（人手不足と東京への集中）、地域のステークホルダーが一体となった取組の不足など

## 【地方創生2.0の起動】

### 1. 目指す姿

=「強い」経済と「豊かな」生活環境の基盤に支えられる多様性の好循環が「新しい日本・楽しい日本」を創る

①「強い」経済	②「豊かな」生活環境	③「新しい日本・楽しい日本」
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立的で持続的に成長する「稼げる」経済の創出により、新たな人を呼び込み、強い地方経済を創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>生きがいを持って働き、安心して暮らし続けられる生活環境を構築し、地方に新たな魅力と活力を創出</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>若者や女性にも選ばれる地方、誰もが安心して暮らし続けられ、一人一人が幸せを実感できる地方</u>を創出</li> </ul>

## 【10年後に目指す姿】

### ○若者や女性にも選ばれる地方をつくる

- ・若者が地方に残りたい、東京圏から地方に戻りたい、地方に行きたいと思うことができる。また、地方に魅力的な学び場、働き場があり、若者が地方で学びたい、働きたいと思うことができる
- ・性別にかかわらず、自分の能力や可能性を發揮し、働きたい人がいきいきと働き続けられる
- ・若者や女性が地域づくりの議論に参加している

### ○地域資源を活用した高付加価値型の地方経済をつくる

- ・地域資源を活用した新たな産品、サービスが生み出せる
- ・地域で国際競争力のある産品を生み出し、世界に向けても売り込める
- ・新たな起業に挑戦できる環境が整っている

### ○安心して暮らせる地方をつくる

- ・身近な生活必需品の買物に不自由しない
- ・日常の医療・介護サービスに不自由しない
- ・日常の移動に不自由しない
- ・災害時も避難所の生活環境が確立されている
- ・人々が地域での暮らしに満足感を持っている

### ○都市と地方が互いに支え合い、一人一人が活躍できる社会をつくる

- ・都市か地方かにかかわらず、互いに交流し、助け合える
- ・人材が希少となる中で、一人一人が活躍できる

### ○AI・デジタルなどの新技術が活用される地方をつくる

- ・全国津々浦々でデジタル基盤が整備され、AI・デジタルなどの新技術が活用できる

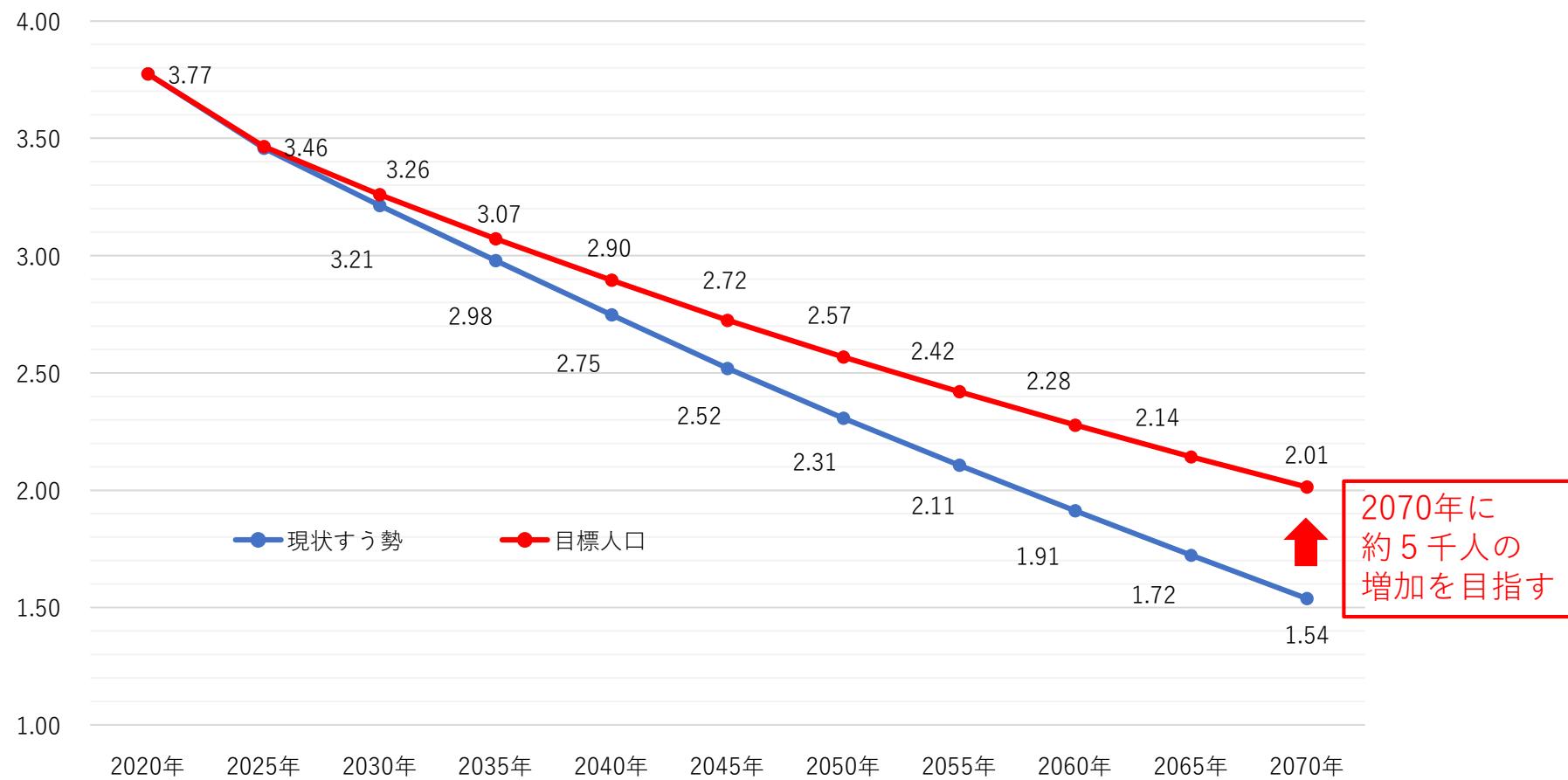
## 総合戦略\_作成方針（案）：将来人口目標の掲載

総合戦略の取組を推進した成果として、安来市人口ビジョン（令和7年3月見直し）に掲げる目標の達成を目指す

- 自然減少抑制の目標：合計特殊出生率について、2045（令和27）年までに人口置換水準の2.07を達成
- 社会減少抑制の目標：2040（令和22）年には社会移動の概ねゼロを達成
- 総人口：2070（令和52）年において概ね20,100人の人口を維持

(万人)

### 安来市人口ビジョンの将来人口目標



## 総合戦略\_作成方針（案）：基本目標・数値目標の見直し

- 地方創生2.0基本構想の「目指す姿」や「基本姿勢・視点」を踏まえ、安来市総合戦略の基本目標を設定
- 基本目標ごとの施策は「基本計画」から該当するものを抽出（現行計画の枠組みと同様）

### 現行の総合戦略（R6.3改訂）

**基本目標 1** 結婚・出産・子育てを支援し、女性の定着を図る

**基本目標 2** 産業振興により、魅力ある雇用の場を創出する

**基本目標 3** 住環境を向上し、市民の定住意識を高める

**基本目標 4** 多種多様で魅力的な地域を形成する

### 次期総合戦略（案）

**基本目標 1** 若者や女性にも選ばれる安来市をつくる

**基本目標 2** 安来市の資源を活用した産業振興により、安来のブランド力を高める

**基本目標 3** 安心して暮らせる安来市をつくる

**基本目標 4** 一人一人が活躍できる安来市をつくる

**基本目標 5** AI・デジタルなどの新技術が活用される安来市をつくる